

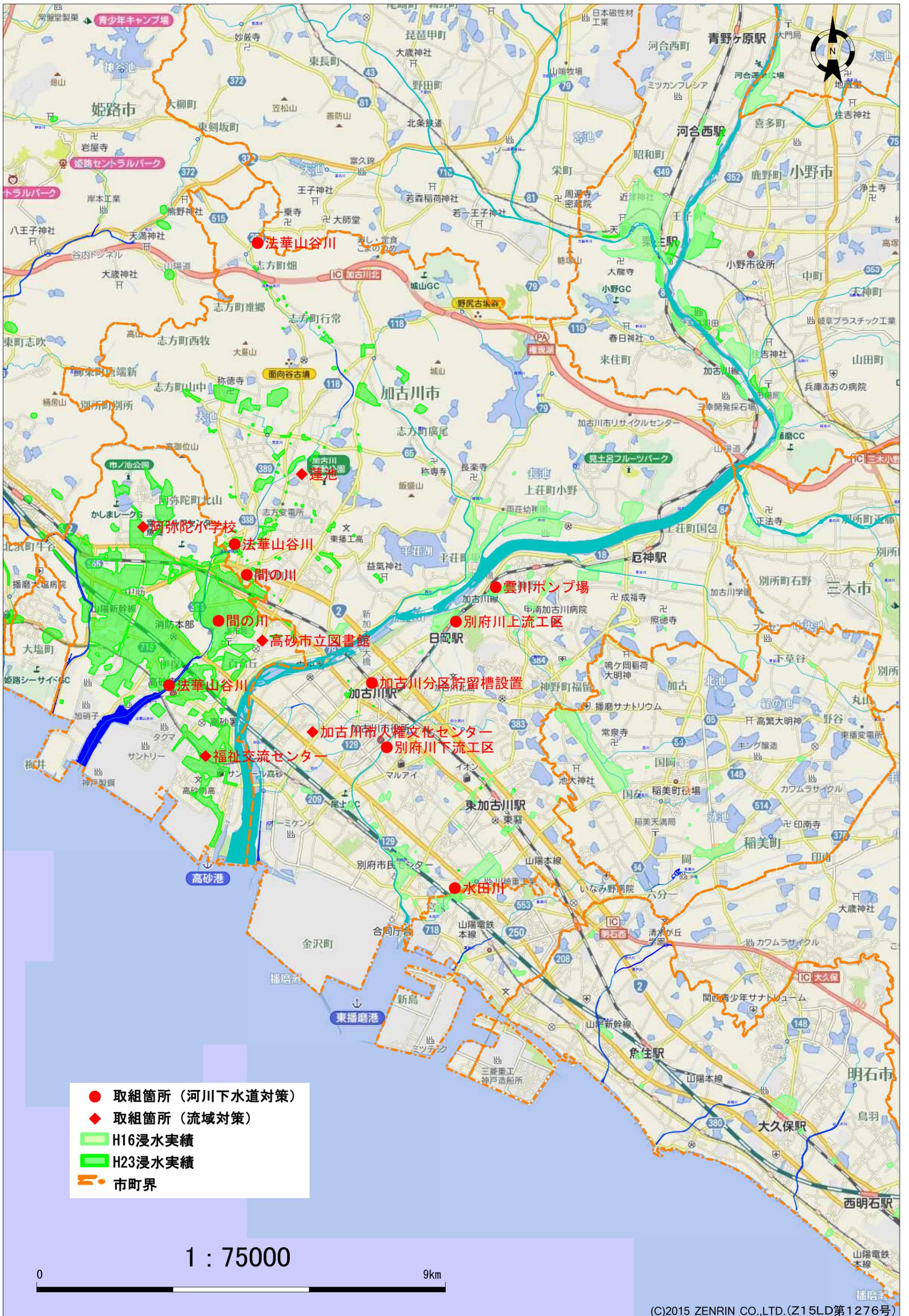
○平成27年度の災害発生状況【加古川土木事務所】



「総合治水」の主な取組一覧表(加古川土木事務所)

●及び◆:位置図参照、★:事例紹介

区分	取組項目	事業主体等	取組実績(～H26)	H27取組内容	取組予定(概ねH28～35)	備考
「ながす」 河川下水道	法華山谷川 ●	県 (加古川土木)	護岸工事(全体L=24,660mの内、約5,600m) 橋梁架替工事	護岸工事(L=約5,800m) 橋梁架替・補強、井堰改築、サイフォン改築等	床上浸水を解消させるためH29年度を目途に河川改修事業を完了させる。 今後は護岸整備が概ね完了してきた下流工区は河床掘削を中心に、中上流工区は用地買収が完了した箇所から護岸整備や井堰改築を進める。	★
	間の川 ●	高砂市	<ポンプ場 全体事業費約23億円> H25:用地買収 A=2105㎡ H26:工事着手(放流渠など) <流路> 詳細設計	<ポンプ場> 完成予定はH29.3 H27:ポンプ場本体に着手 <流路> 流路改修工事に着手予定	<ポンプ場> 完成予定はH29.3 <流路> H28年度90m、H29年度180m流路拡幅	★
	間の川 ●	加古川市	—	実施設計	流路確保等の対策工事	
	曇川ポンプ場 ●	県 (加古川土木)	工事継続(土木・機械・電気工事等)	土木・機械・電気工事等	H28年4月供用開始予定	★
	別府川上流工区 ●	県 (加古川土木)	市道橋下部工(市委託) 改修計画検討	市道橋上下部工(市委託) 分流施設等詳細設計	水路付け替えを予定	
	別府川下流工区 ●	県 (加古川土木)	—	H27新規事業化(測量、調査、設計等)	河床掘削を予定	
	水田川 ●	県 (加古川土木)	2工区:施工計画検討、用地交渉 3工区:測量、詳細設計(繰越)	2工区:詳細設計、用地買収 3工区:詳細設計、用地測量	2工区:用地買収(継続)、本川水路工事着手予定 3工区:用地買収、暫定改修着手予定	
	加古川市下水道	加古川市	加古川分区分留槽設置工事 ●(貯留量240㎡ 設置完了) 雨水幹線整備詳細設計、工事	雨水幹線整備詳細設計、工事	左記の継続	
	高砂市下水道	高砂市	沖浜ポンプ場・鹿島第2ポンプ場増設 荒井ポンプ場更新 雨水管線整備(L=151m)	雨水管線整備(L=146m)	中島ポンプ場・間の川ポンプ場新設 雨水管線整備(L=2,679m)	
	稲美町下水道	稲美町	雨水幹線整備 L=370m	雨水幹線整備 L=80m	H31年度完成予定	
播磨町下水道	播磨町	古宮第2-1雨水幹線整備事業他 L=8406m	古宮第5雨水幹線整備事業 L=52m	古宮第5雨水幹線整備事業 L=292m		
「ためる」 流域対策	学校	県	—	県立高校と協議・調整	左記の継続	
	学校	加古川市	山手中学校(浸透枘4箇所設置)	校庭貯留調査	校庭貯留調査、工事	
	学校	高砂市	阿弥陀小学校(校庭貯留) ◆	—	—	
	公園	高砂市	—	—	荒井町、浜田町にて整備予定	
	公園	播磨町	H26あえのはま広場(透水性舗装 566㎡)	防災公園(透水性舗装 620㎡)	左記の継続	
	その他大規模施設	加古川市	人権文化センターのガラスパキング(約800㎡) ◆	(仮称)中央市民病院の貯留施設(約800㎡) 歩道整備(透水性舗装約2,000㎡)	歩道整備(透水性舗装 H28予定 約3,000㎡)	
	その他大規模施設	高砂市	福祉交流センターの透水性舗装(約1,000㎡) ◆	高砂市立図書館の透水性舗装(約700㎡) ◆	施設の新設・改修時に整備の推進を図る	
	ため池	市町及び県加古川 流域土地改良事務所	ため池協議会等を通じた、事前放流の啓発	左記を継続	左記の継続	
	ため池	ため池管理者	事前放流	左記を継続	左記の継続	
	ため池	ため池管理者 (法華山流域)	H25.9.16 台風18号 蓮池◆にて事前放流実施 (2.5ha×0.15m=約3,800㎡、約8時間)	左記の池で対応	左記の継続	
	ため池	加古川市	—	洪水吐切欠き(6箇所整備) アンケート調査の実施	左記の継続	
	ため池	高砂市	—	—	洪水吐切下(惣毛池他4池)、事前放流設備の整備(大池)	
	ため池	稲美町	洪水吐切欠き:7池 緊急放流ゲート:5池	洪水吐切欠きの整備(6箇所)	洪水吐切欠きの整備(H30年度までに9箇所予定)	★
	水田	県加古川流域土地 改良事務所	田んぼせき板の配布 加古川市(約1,200枚)、稲美町(800枚)	左記を継続	左記を継続	
「そなえる」 減災対策	出前講座など	県 (加古川土木)	平荘小学校(国土交通省と合同)	東播工業高校(インターンシップ)	左記の継続	
	自主防災組織等 パワーアップ講座	県 (県民局)	—	新規	—	★
	ジュニア防災スクール	県 (県民局)	明石市で2日開催	左記の継続	左記の継続	★
	雨水貯留タンク	県 (加古川土木)	—	雨水貯留タンクの実物を総合庁舎1階に展示 し啓発(3月)	左記の継続	
	雨水貯留タンク	加古川市	—	雨水貯留施設設置助成制度創設 (上限3万円/件) 66件	左記の継続	★
	雨水貯留タンク	加古川市	人権文化センターに設置	公民館に設置(12箇所)	—	
	雨水貯留タンク	高砂市	—	—	雨水貯留施設設置助成制度創設(H28から予定)	
	雨水貯留タンク	稲美町	助成制度(H15～、1/2助成、上限3万円) 46基	左記の継続 10基(H28. 1)	左記の継続	
	雨水貯留タンク	播磨町	—	—	雨水貯留施設設置助成制度創設(H28から予定)	
	総合治水の模型製作	県 (総合治水課)	県立東播工業高校、県立農業高校	出前講座等で活用(「青少年のための科学の 祭典」で展示実演 8月22日)	左記の継続	
	建物への耐水機能の備え	加古川市	土のうの配布	左記の継続	左記の継続	
	建物への耐水機能の備え	高砂市	自治会への土のう袋の配布	左記の継続	左記の継続	
	排水施設の設置等	加古川市	緊急時における仮設ポンプの設置	左記の継続	左記の継続	
	排水施設の設置等	高砂市	ポンプピットの整備(阿弥陀町)、リースポンプの設置	曾根松村ポンプ・伊保2丁目ポンプの設置、 リースポンプの設置	リースポンプの設置	
	防災力向上のための講演会等	加古川市	出前講座等の開催による啓発 自主防災組織への訓練指導	出前講座等の開催による啓発 自主防災組織への訓練指導 自主防災組織への活動支援	左記の継続	
	防災力向上のための講演会等	高砂市	出前講座等の開催による啓発	左記の継続	左記の継続	
	防災力向上のための講演会等	播磨町	出前講座等の開催による啓発 学識経験者を招いた講演会を開催	左記の継続	左記の継続	
	水防体制の強化 防災訓練の実施	加古川市	ハザードマップの更新(H26年度) HP、広報紙、防災ネット、BANBANTV・ラジオ等による緊急情 報の発信	かこナビ(公開版地図サービス)による防災情 報の発信 HP、広報紙、防災ネット、BANBANTV・ラジオ 等による緊急情報の発信	左記の継続	
	水防体制の強化 防災訓練の実施	高砂市	ハザードマップの更新(H26年度)	—	—	
	水防体制の強化 防災訓練の実施	高砂市	手作りハザードマップの作成支援	—	—	
	水防体制の強化 防災訓練の実施	高砂市	消防団に避難用ボートを配備	—	—	
	水防体制の強化 防災訓練の実施	稲美町	町全体の防災訓練の実施	左記の継続	左記の継続、及び防災マップの作成	
	水防体制の強化 防災訓練の実施	播磨町	可動式防潮堤(ゲート)操作講習会	可動式防潮堤(ゲート)操作講習会 ハザードマップの更新 ★ テレドームの導入 河川監視用カメラの設置	可動式防潮堤(ゲート)操作講習会 地域版ハザードマップの作成支援 職員用メール一斉配信システム導入	★
	輪中堤	加古川市	実施設計	ハラハット整備 L=約230m (H27完成予定)	—	



## ○各戸貯留の取組み【加古川市】

### 雨水貯留施設(タンク)設置の助成

#### 周知方法

市内の公民館(12箇所)に貯留タンクを設置



### 雨水貯留施設(タンク)設置の助成状況

#### 交付状況 (1月末時点)

件数(受付)		<b>66件</b>							
容 量		80ℓ以上100ℓ未満	100ℓ以上150ℓ未満	150ℓ以上200ℓ未満	200ℓ以上300ℓ未満	300ℓ以上500ℓ未満	500ℓ以上		
	件数	2	26	12	14	5	7		
助成額		1万円未満		1万円以上2万円未満	2万円以上3万円以下		3万円		
	件数	12		24	10		20		
申 請 (月別)		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	件数	37	15	5	2	1	3	2	1
		広報紙(4月末)、新聞掲載(5/20)の直後に集中							

# ○治水対策の取組み【高砂市】

## ■間の川の改修状況

間の川ポンプ場建設状況



## ■松村川の改修状況

橋梁架替状況



河床掘削状況



○ため池に関する防災の取組み【稲美町】

ため池緊急放流ゲートの設置1(城ノ池)



ため池緊急放流ゲートの設置2(満溜池)



# ○播磨町総合防災マップの更新【播磨町】

保存版

災害時だけでなく、平時から災害に備えてわが家で避難を考えるための冊子です。また、防災訓練や学習会で活用いただくため、すぐ持ち出せるところに保管してください。

◎播磨町総合防災マップ

## 上手に逃げるための防災マップ

～わたしが使う みんなで助かる～

まずはココから読んでください！  
P1～P2

### 1 播磨町で起こる災害を知る!!

<b>風水害の概要</b> 浸水被害のイメージ P3～6 	<b>地震・津波の概要</b> 津波からの避難 P23～26 
--	--

### 2 災害時に取るべき行動を考える!!

<b>風水害</b> P7～8 Step1 (確認) テレビやインターネットで情報を確認！ Step2 (判断) 集めた情報をもとに避難のタイミングを決め、避難を判断！ Step3 (行動) 状況に応じて、適切な避難行動を！	<b>地震・津波</b> P27～28 Step1 (確認) 身を守り、テレビやインターネットで情報を確認！ Step2 (判断) 津波警報、大津波警報を確認し、避難を判断！ Step3 (行動) 適切な避難行動を！
--	--

### 3 わが家の避難マップを作って備える!!

<b>風水害</b> P9～22 Step1 避難マップを確認！ Step2 実際に避難ルート歩いてみよう！ Step3 わが家の避難マップ(風水害編)を作ろう！ 洪水避難マップ(水田川・喜瀬川・加吉川) 高潮避難マップ	<b>地震・津波</b> P29～38 Step1 避難マップを確認！ Step2 実際に避難ルート歩いてみよう！ Step3 わが家の避難マップ(地震・津波編)を作ろう！ 地震・津波避難マップ
--	--

わが家の避難方針 …… 裏表紙

#### わが家の避難方針

下線部分に必要な事項を記入し、コピーして家族で共有しましょう。

風水害	地震・津波
台風が接近したり、大雨の予報があれば、テレビ・ラジオ・インターネット等で情報収集をします。 風水害に関する情報を収集し、危険を感じたり、避難情報入手したらわが家は、 <input type="checkbox"/> 自宅待機し、状況に応じて垂直避難します。 (※むやみに外出せず、情報収集に努めます) <input type="checkbox"/> 水平避難します。 (一時避難所等)	緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたら、自分の身を守る行動をとります。 津波警報・大津波警報を入手したらわが家は、 水平避難します。 (津波避難目標地点)
水平避難の途中で危険を感じたら、 緊急的に垂直避難します。 (津波避難ビル等)	水平避難の途中で危険を感じたら、 緊急的に垂直避難します。 (津波避難ビル等)
家が被災し、生活が困難な場合は、 避難します。 (避難所等)	家が被災し、生活が困難な場合は、 避難します。 (避難所等)

**避難する前の注意事項** 避難する前には、火の始末をして、電気のブレーカーを落とします。非常持ち出し袋を準備します。

#### わが家の緊急連絡先

名前	緊急連絡先	名前	緊急連絡先

#### 災害用伝言ダイヤル

災害時にNTTから提供される「伝言ダイヤル」です。30秒以内、伝言を入れます。

ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を市外局番からプッシュ。

インターネットでも登録・確認できます。  
<https://www.web171.jp> にアクセスしてください。

発行：平成 28年 3月

**播磨町 危機管理グループ**

〒675-0182  
兵庫県加古郡播磨町東本庄 1-5-30

TEL 079-435-0355 (代表)  
TEL 079-435-0991 (高潮)  
FAX 079-435-7901 (直通)

やいちゃん いせきん

まずはココから読んでください!

### 風水害の時には...

#### Point 1 テレビやインターネットで情報収集!

風水害時には、関係機関が様々な情報を発表します。テレビやインターネットを通じて、情報を収集しましょう。避難は浸水が始まる前に、自主的に判断して行いましょう。

- 移動手段は徒歩で!
- 移動は2人以上で!
- 夜間の移動は要注意!

#### Point 2 避難する際は適切な方法を!

避難行動には、安全な場所へ移動する「水平避難」と、高い建物や自宅の2階等に移動する「垂直避難」があります。想定される浸水の程度、避難するタイミングに応じて、最も適切な方法を取ってください。

また、水平避難の途中で間に合わないと思った場合は、丈夫な建物の高層階(津波避難ビル等)に緊急的に垂直避難を行いましょう。



風水害時の対応について、もっと詳しく知りたい方は

**P3へ**

### 地震が発生したら...

#### Point 1 グラツときたら身の安全を確保!

まず地震の揺れから身を守りましょう。家屋の耐震化や家具の固定はそのための大前提となります。揺れがおさまったら火の始末等の二次災害の防止、家族や地域での救助活動、津波や余震に備えた避難行動を行う必要があります。

落ちついた火の元確認初期消火

あわてた行動けがのもと

窓や戸を開け出口を確認

#### Point 2 津波からは可能な限り、より「遠く」より「高く」

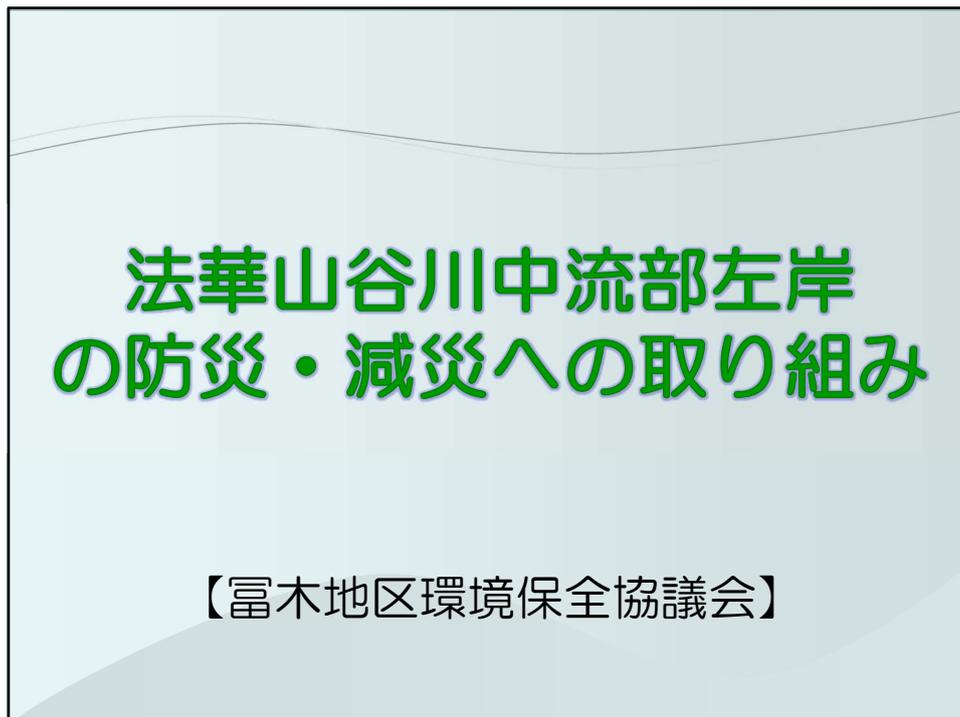
津波避難対象地域にお住まいの方は、津波警報を聞いたら、避難を開始しましょう。可能な限り、津波避難目標地点へ向って避難し、途中で間に合わないと思った場合は津波避難ビルに避難しましょう。



地震・津波時の対応について、もっと詳しく知りたい方は

**P23へ**

○法華山谷川中流部左岸の防災・減災への取組み【富木攻氏】



○「ジュニア防災スクール」「自主防災組織等パワーアップ講座」の  
取組み【東播磨県民局 総務防災課】

非常食



段ボールベッドの組立て



段ボールベッドの強度チェック



リュックを背負ってみる



傘をさして長靴で歩行



傘をささず、運動靴で歩行



**b 平成27年度工事の取組事例**

■金時水路の保存

下流5-2工区(図面番号⑧)、金時サイフォン改築工事(図面番号⑨)では、江戸時代に整備され、今も地元の人から親しまれている金時水路や船着き場跡の一部を新たに整備する護岸や水路に移設し、保存する予定。



【金時水路】

金時水路:加古川の水を伊保峠まで導くため、江戸時代に整備され、今も地元の人から親しまれている金時水路や船着き場跡の一部を新たに整備する護岸や水路に移設し、保存する予定。



【船着き場跡】

船着き場跡:竜山石を船で運ぶための施設と考えられている。

■竜山石の利用

下流5-2工区(図面番号⑧)、下流6工区(図面番号⑩)では地元の竜山石を使い護岸を整備。



【竜山石による石積護岸(H26工事)】

**c 生石橋上流**

【改修前の状況 H25.5】



【左岸側の護岸改修後の状況 H27.5】



**d 谷川橋下流**

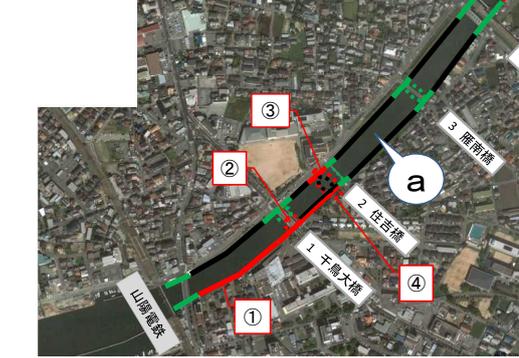
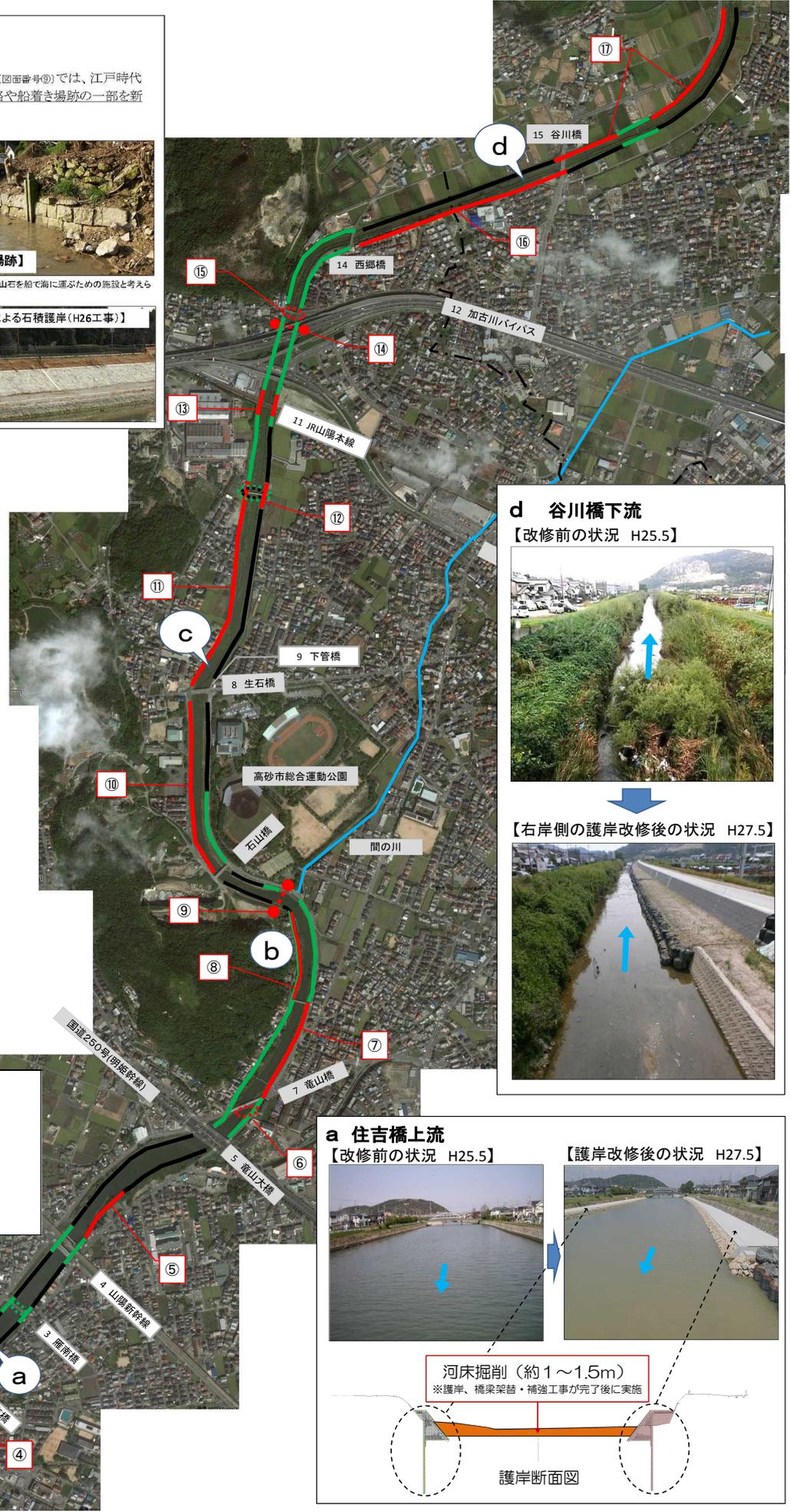
【改修前の状況 H25.5】



【右岸側の護岸改修後の状況 H27.5】



— 平成26年度までに完成  
— 平成27年度工事  
— 平成28年度以降工事予定  
 ※河床掘削は平成28年度頃から着手



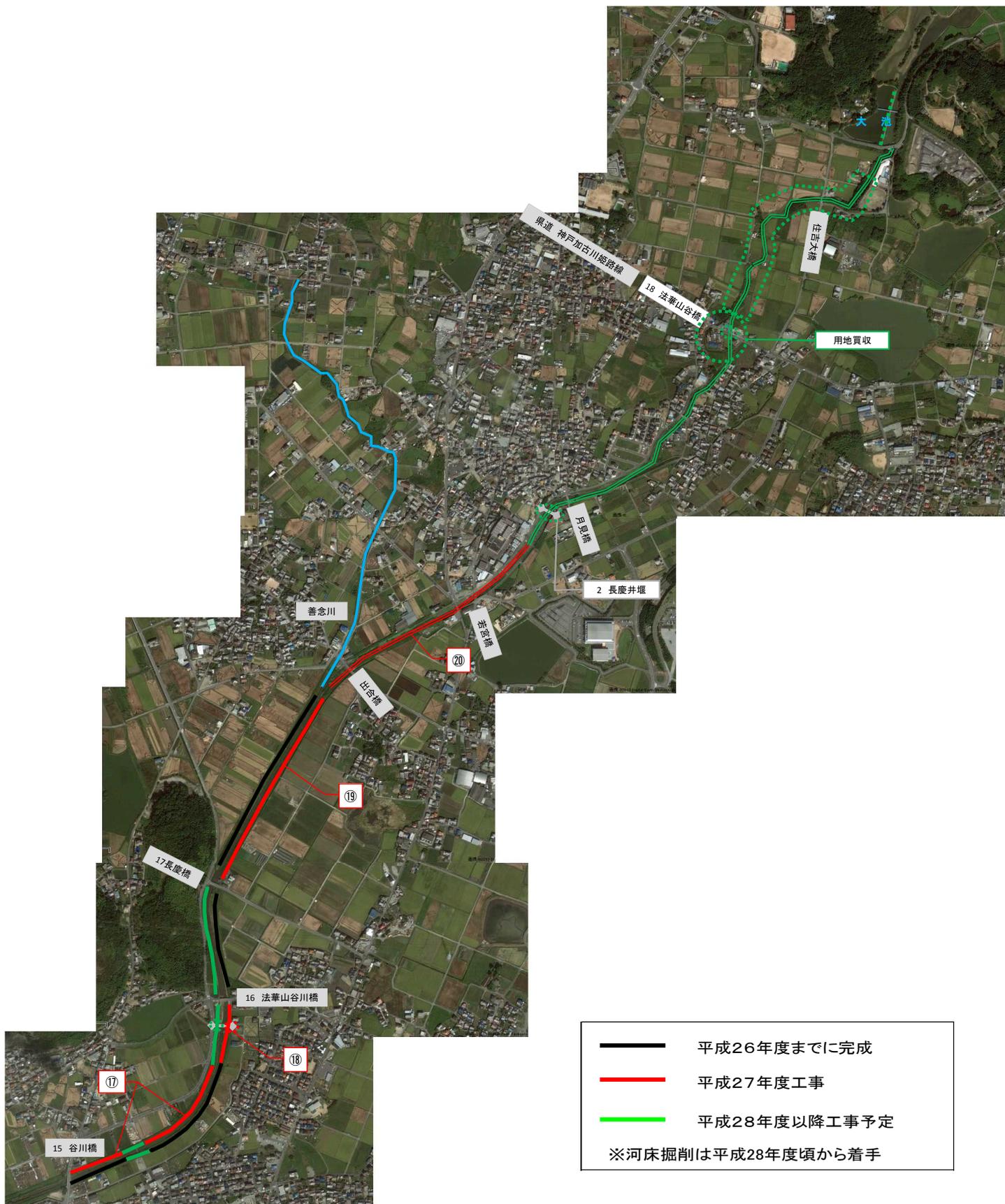
**a 住吉橋上流**

【改修前の状況 H25.5】

【護岸改修後の状況 H27.5】

河床掘削(約1~1.5m)  
 ※護岸、橋梁架替・補強工事が完了後に実施

護岸断面図



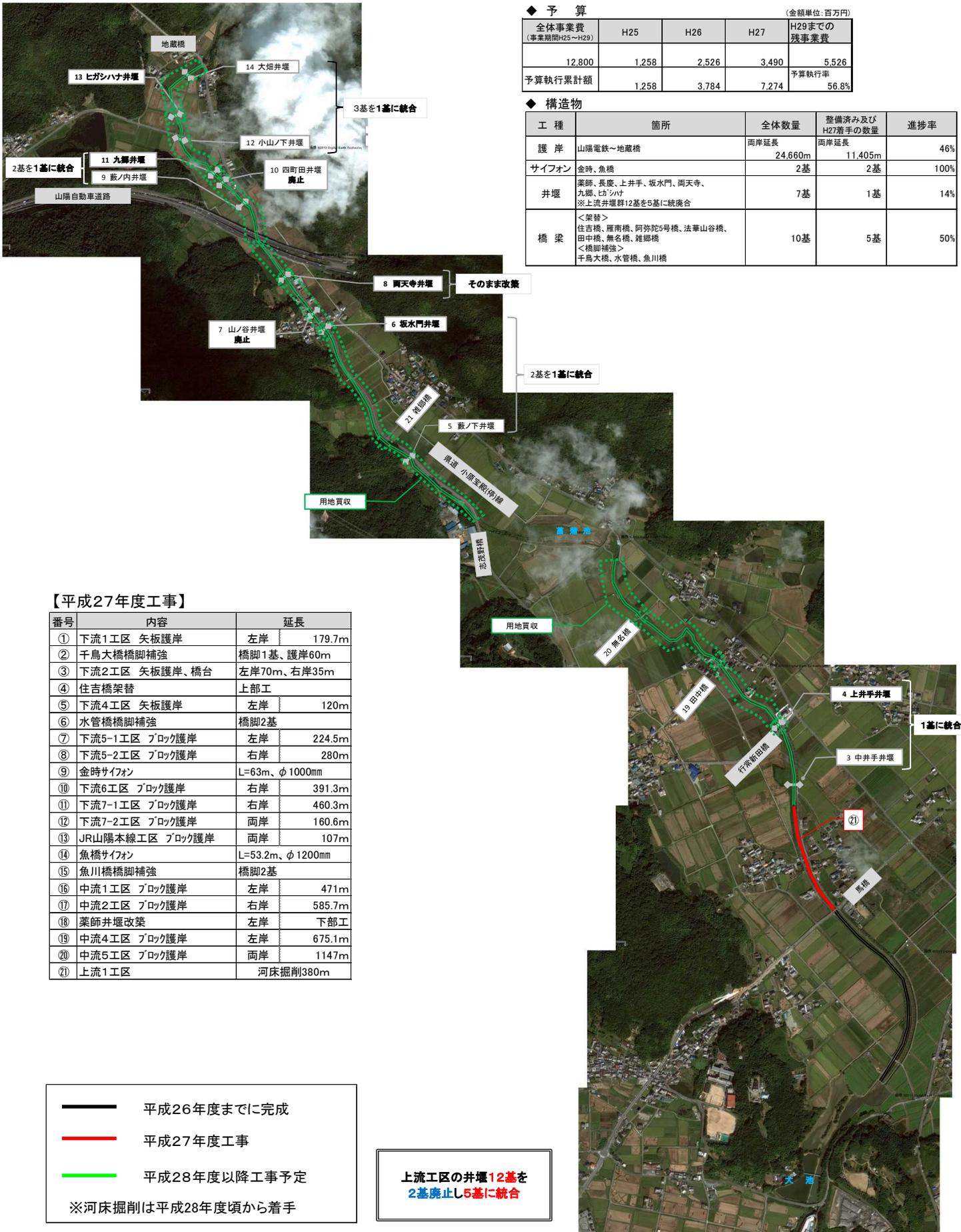
【事業進捗状況】

◆ 予算 (金額単位: 百万円)

全体事業費 (事業期間H25～H29)	H25	H26	H27	H29までの 残事業費
12,800	1,258	2,526	3,490	5,526
予算執行累計額	1,258	3,784	7,274	予算執行率 56.8%

◆ 構造物

工種	箇所	全体数量	整備済み及び H27着手の数量	進捗率
護岸	山陽電鉄～地蔵橋	両岸延長 24,660m	両岸延長 11,405m	46%
サイフォン	金時、魚橋	2基	2基	100%
井堰	薬師、長慶、上井手、坂水門、両天寺、 九脚、ヒカシケ ※上流井堰計12基を5基に統合	7基	1基	14%
橋梁	<架替> 住吉橋、雁南橋、阿弥陀5号橋、法華山谷橋、 田中橋、無名橋、鞋畑橋 <橋脚補強> 千鳥大橋、水管橋、魚川橋	10基	5基	50%



【平成27年度工事】

番号	内容	延長
①	下流1工区 矢板護岸	左岸 179.7m
②	千鳥大橋橋脚補強	橋脚1基、護岸60m
③	下流2工区 矢板護岸、橋台	左岸70m、右岸35m
④	住吉橋架替	上部工
⑤	下流4工区 矢板護岸	左岸 120m
⑥	水管橋橋脚補強	橋脚2基
⑦	下流5-1工区 ブロック護岸	左岸 224.5m
⑧	下流5-2工区 ブロック護岸	右岸 280m
⑨	金時サイフォン	L=63m、φ1000mm
⑩	下流6工区 ブロック護岸	右岸 391.3m
⑪	下流7-1工区 ブロック護岸	右岸 460.3m
⑫	下流7-2工区 ブロック護岸	両岸 160.6m
⑬	JR山陽本線工区 ブロック護岸	両岸 107m
⑭	魚橋サイフォン	L=53.2m、φ1200mm
⑮	魚川橋橋脚補強	橋脚2基
⑯	中流1工区 ブロック護岸	左岸 471m
⑰	中流2工区 ブロック護岸	右岸 585.7m
⑱	薬師井堰改築	左岸 下部工
⑲	中流4工区 ブロック護岸	左岸 675.1m
⑳	中流5工区 ブロック護岸	両岸 1147m
㉑	上流1工区	河床掘削380m

— 平成26年度までに完成  
— 平成27年度工事  
— 平成28年度以降工事予定  
 ※河床掘削は平成28年度頃から着手

— 上流工区の井堰12基を  
— 2基廃止し5基に統合

曇川排水機場 概要

一級河川 曇川 (延長約 7.5km、流域面積 23.3 ㎥)	
機場名	現排水機場
計画排水量	曇川ポンプ場 21 ㎥/s
ポンプ規格	曇川排水機場 (仮称) 26 ㎥/s
駆動機関	8.67 ㎥/s 立軸斜流ポンプ φ 1800mm × 3 台 ディーゼル機関
機場構造	RC 構造
基礎形式	直接基礎
設置位置	加古川市神野町西之山、新神野 8 丁目
建設年度	平成 27 年度
	昭和 38 年度(1 号機)、昭和 39 年度(2、3 号機)



写真-1 整備位置



図-1 完成予想図



写真-2 新排水機場(外観)



写真-3 新排水機場(機場内部)

河川整備計画における位置づけ

曇川排水機場は、昭和 58 年 9 月の台風 10 号相当 (約 1/30 年確率) の洪水を対象に曇川樋門地点での内水位を計画高水位以下に抑えることを目的とし、計画排水量を 26 ㎥/s として平成 16 年度に策定した「加古川水系下流域域 河川整備計画」で計画されている。

曇川内水時(曇川樋門閉鎖時)には、排水機場より 26 ㎥/s を加古川本川に排水し、30 ㎥/s を別府川に分派する計画となっている(図-2 参照)。

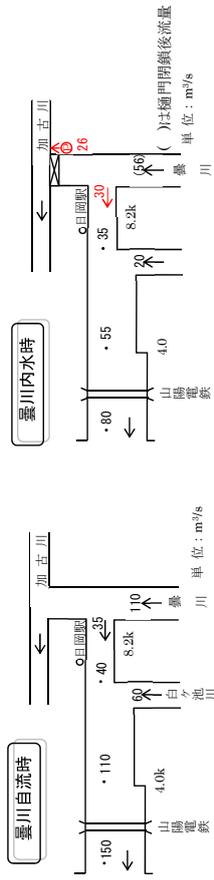


図-2 別府川・曇川整備目標流量配分図

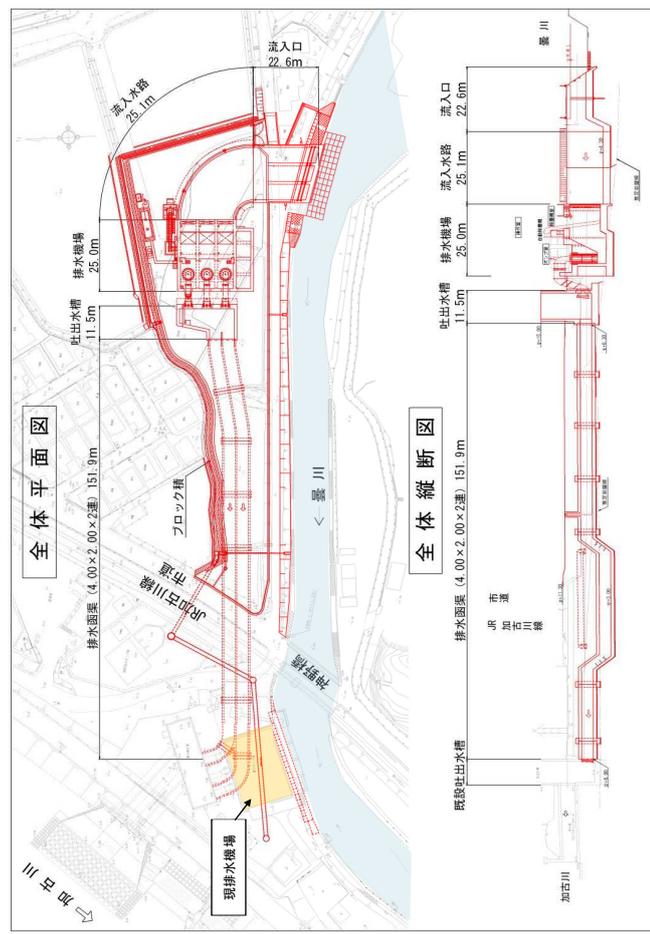


図-3 全体平面図・縦断面図

「特集 建設分野の魅力」第5回



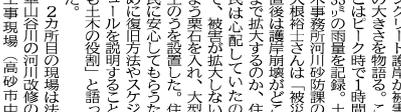
「避難時、君たちはリーダーになる」

初日は兵庫県伊丹市加古川土木事務所の伊藤所長が「土木の魅力」を伝える。見た目が清潔な制服を着た...

1日目

東播磨高は日々、防災訓練を繰り返している。...

兵庫県立東播磨工業高校 加古川市の土木科2年生が、河川護岸の復旧現場河川改修現場を訪れ、災害時の仕事について学びたいと、考えた。...



①法華山谷川の河川改修工事現場。②東播磨高の生徒ら。③加古川土木事務所。④災害時の取組の様子。見学者は加古川土木事務所。

崩れたままの護岸に息をのむ

現場を訪ねて。2015年9月の台風18号で、加古川区の高砂町で計画された河川改修工事現場を訪ねた。...

災害時に何が出来るか

現場を歩いて考えた

最後に「総合的な取組」について。現場を訪ねて。2015年9月の台風18号で、加古川区の高砂町で計画された河川改修工事現場を訪ねた。...



【上段】①資料映像で巨大地震の破壊力を知る。②出された意見を集約、整理して模造紙に書き出す。【下段】③討議の結果発表。災害時どう動くかを生徒全員で確認。④2人1組で2日間の体験を踏まえ「将来自分は何をしたいのか」を語り合う。いずれも県立東播磨工業高校。



「進路に目標」「活発な議論に驚き」

全日程を終えて。生徒の探訪船長君は2日間のインターンシップを通して印象に残ったことを、初日の早朝のミーティングで報告した。...

グループ討議

最終的に模造紙に課題と対策を整理して書き出した。グループ討議の結果発表。災害時どう動くかを生徒全員で確認。...

未来につなぐ

つくるひと・まもるひと。生徒の探訪船長君は2日間のインターンシップを通して印象に残ったことを、初日の早朝のミーティングで報告した。...

災害時に何が出来るか

現場を歩いて考えた

最後に「総合的な取組」について。現場を訪ねて。2015年9月の台風18号で、加古川区の高砂町で計画された河川改修工事現場を訪ねた。...

グループ討議

最終的に模造紙に課題と対策を整理して書き出した。グループ討議の結果発表。災害時どう動くかを生徒全員で確認。...

未来につなぐ

つくるひと・まもるひと。生徒の探訪船長君は2日間のインターンシップを通して印象に残ったことを、初日の早朝のミーティングで報告した。...

「進路に目標」「活発な議論に驚き」

全日程を終えて。生徒の探訪船長君は2日間のインターンシップを通して印象に残ったことを、初日の早朝のミーティングで報告した。...